

平成27年度 第5回足立区総合教育会議 次第

平成27年9月24日(木)
午後2時00分～
足立区役所 8階庁議室

1 乳幼児期における関連団体における活動等について

[午後2時00分～午後3時00分]

2 成人期における関連団体における活動等について

[午後3時00分～午後4時00分]

3 次回の予定

10月29日(木) 午後3時00分～午後5時00分
足立区役所 8階特別会議室

【資料】

- 1 教育大綱理念(案)
- 2 理念実現に向けた施策(案)
- 3 足立区総合教育会議 事務日程(案)

第5回足立区総合教育会議 出席名簿

(構成員)

役 職	氏 名
区長	近藤 やよい
教育長	定野 司
教育委員 (教育長職務代理者)	小川 正人
教育委員	桑原 勉
教育委員	花岡 惠三
教育委員	小川 清美

(関係職員)

役 職	氏 名
政策経営部長	長谷川 勝美
総合事業調整担当部長	秋生 修一郎
総務部長	大山 日出夫
地域のちから推進部長	井元 浩平
産業経済部長	石居 聡
福祉部長	橋本 弘
衛生部長	大高 秀明
教育次長	山本 聖志
学校教育部長	宮本 博之
子ども家庭部長	伊藤 良久
生涯学習振興公社事務局長	永井 章子
政策経営課長	中村 明慶
総務課長	鳥山 高章
秘書課長	高橋 俊哉
地域文化課長	浅見 信昭
教育政策課長	杉岡 淳子
教育指導室長	浮津 健史

第5回足立区総合教育会議

関係団体出席者名簿

ライフ ステージ	団体名	出席者
乳幼児期	足立区私立保育園連合会	会長 川下 勝利 (やよい保育園 園長)
	足立区認証保育所連絡会	会長 廣島 清次 (株式会社ヒューマンサポート 代表取締役)
	足立区小規模保育室連絡会	会長 岩崎 恵一 (株式会社キンダーナーサリー 保育園事業部 部長)
	足立区立保育園長会	会長 増田 久美 (中島根保育園 園長)
	足立区私立幼稚園協会	副会長 古庄 宏吉 (ふちえ幼稚園 園長)
	足立区私立幼稚園父母の会連合会	会長 山口 友紀
	足立区民生・児童委員協議会 主任児童委員会	委員長 小宮 謙治
	NPO法人子育てパレット	代表理事 三浦 りさ
成人期	中央本町地域学習センター	所長 杉本 貴志
	東京未来大学福祉保育専門学校	副校長 小川 孝裕
	あだち異業種交流会未来クラブ	会長 丸山 寛治 (株式会社安心堂 会長)
	公益財団法人足立区体育協会	会長 中田 裕康
	足立区スポーツ推進委員会	会長 羽住 敏久
	足立区青少年委員会	会長 北島 一弘

平成27年度
第5回足立区総合教育会議
(9月24日)

座席表(乳幼児期)

衛生部長

福祉部長

生涯学習振興公社
事務局長

子ども家庭
部長

学校教育部長

教育次長

NPO 法人子育て
パレット
三浦 りさ

足立区民生・児童委員
協議会 主任児童委員会
委員長 小宮 謙治

足立区私立幼稚園
父母の会連合会
会長 山口 友紀

足立区私立
幼稚園協会
副会長 古庄 宏吉

教育委員
花岡 恵三

教育委員
小川 正人

産業経済部長

地域のちから
推進部長

総務部長

総合事業調整
担当部長

政策経営部長

足立区立保育園長会
会長 増田 久美

足立区小規模
保育室連絡会
会長 岩崎 恵一

足立区認証
保育所連絡会
会長 廣島 清次

足立区私立
保育園連合会
会長 川下 勝利

教育委員
小川 清美

教育委員
桑原 勉

事務局

秘書課長

教育指導室長

教育政策課長

地域文化課長

総務課長

政策経営課長

傍聴席

教育長

足立区長

↑
出入口

平成27年度
第5回足立区総合教育会議
(9月24日)
座席表(成人期)

衛生部長

福祉部長

生涯学習振興公社
事務局長

子ども家庭
部長

学校教育
部長

教育次長

足立区青少年委員会
会長 北島 一弘

スポーツ推進委員会
会長 羽住 敏久

公益財団法人
足立区体育協会
会長 中田 裕康

教育委員
花岡 恵三

教育委員
小川 正人

産業経済部長

地域のちから
推進部長

総務部長

総合事業調整
担当部長

政策経営
部長

あだち異業種交流会
未来クラブ
会長 丸山 寛治

東京未来大学
福祉保育専門学校
副校長 小川 孝裕

中央本町
地域学習センター
所長 杉本 貴志

教育委員
小川 清美

教育委員
桑原 勉

事務局

秘書課長

教育指導
室長

教育政策
課長

地域文化
課長

総務課長

政策経営課長

傍聴席

教育長

足立区長

↑
出入口

基本理念

足立区教育大綱（案）

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

前文

…誰もが子どもを支える主役…

教育大綱は、これからを生き、将来社会の支え手となる子どもたちをどのように育てあげるか、という区の教育に関する基本的な姿勢を示すものです。

教育の使命は、「学び」^{注1}の意欲と自己効力（肯定）感^{注2}を喚起し、社会的な自立と自他の幸福を実現できる力を育むことにあります。さらに培われた力が個人に留まることなく、次世代の子どもたちの成長を促す力として活用される循環を生み出すことも重要です。これらを実現していくため、家庭・学校・地域のみならず、社会全体で連携を密に、総ぐるみで子どもを支え、育てあげていく仕組みを整えます。

…貧困の連鎖を断ち切る教育…

治安・学力・健康といった区のボトルネック的課題に深く関わり、負の連鎖を生み出す元となっている「貧困」。世代を超えて連鎖する深刻な貧困を断ち切るために重要な役割を果たすのが「教育」です。自身の将来に夢や希望を見出せないといった厳しい環境にある子どもたちに対しては、そこから脱出し、自立して生き抜く力を育むことのできる様々な機会を繰り返し提供し、個人に寄り添った丁寧な支援を行います。

様々な学びを通じて、夢や希望を信じて生き抜く人づくり。これが区の教育の原点です。

注1)ここで言う「学び」とは、「生きる力」(確かな学力、豊かな人間性、健康と体力)を培うことを意味します。また、確かな学力とは、知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたものを意味します。

注2)自己効力感とは、自らが社会や身の回りを変える力があると認識することで、自身が役立っていると感じることを意味します。

世代別理念

【資料1】

平成27年9月24日第5回総合教育会議資料

乳幼児期

様々な出会いやかかわりを通じて、
たくましく成長するための素地をつくる

生涯にわたり人間形成の基礎を養う大切な乳幼児期。密接にかかわりを持つ大人たちからの深い愛情、様々な出会い、かかわりあいを通じて、子どもたちが自己肯定感を培う時期です。

そこで、豊かな感性や意欲を育み、できる喜びを自信に変えていくとともに、基本的な生活習慣をしっかりと身につけ、学びの基礎を固めていきます。また、家庭、保育園・幼稚園・こども園、地域等が互いに子どもたちを支え、見守りながら、青少年期に向けて心も体もたくましく育てていける仕組みづくりを進めていきます。

世代別理念の説明文

青少年期

ともに歩み、磨きあいながら、
自身の道を切り拓く力を培う

成人期に向け自立する力を培う青少年期。旺盛な好奇心のもと、希望や意欲を持って行動し、様々な経験を重ねる中で、基本的な知識やそれを活用できる思考力やコミュニケーション能力を培う時期です。

そこで、子どもたちが将来への夢や希望の実現に向けて、広い視野や考えをもつために、多くの友人たちと切磋琢磨し、学校や地域活動などで多様な人々とかかわることができる環境を整えます。また、生活環境に左右されることなく、同じスタートラインに立てるように、機会を平等に提供していきます。さらには、夢や希望の実現をめざし、自らが学び、考え、課題を克服し、人生を切り拓いていく力を身につけるため、学校、家庭、地域等の連携を一層強め、それぞれが持つ教育機能を最大限発揮できる仕組みづくりを進めていきます。

成人期

自ら学ぶとともに、
その経験を社会に還元する意欲を育てる

社会的・経済的に自立する成人期。学びの意欲を失うことなく、これまで積み重ねてきた自身の幅広い経験を元に、学びの成果を社会生活や地域づくりなどに還元し生かす時期です。

そこで、生きがいを持ち、意欲的に学び続けるための様々な機会や場を提供していきます。また、子どもたちの未来のために地域の支え手として活躍できる仕組みづくりを進めていきます。

理念の実現に向けた施策（案）

乳 幼 児 期

幼児教育の推進

基本的な生活習慣の定着に向けた取組みの推進

地域で安心して子どもを育てられる環境の整備

子ども・子育て世帯への支援体制の強化（ ）

円滑な小学校への移行のための幼児教育の充実

青 少 年 期

学力・体力向上に向けた教育の推進（ ）

多様な学習の機会・場の提供（ ）

社会・家庭・学校を通じての多様な体験活動の充実

安心して学校生活を送るための環境整備（ ）

学習・遊び・交流の場となる居場所づくりの推進（ ）

社会への円滑な移行のためのキャリア教育の充実（ ）

成 人 期

生涯にわたる学習活動の推進

地域を支える人材の育成

スポーツ、健康づくりのための環境整備

学んだ成果を地域や次の世代につなげる仕組みづくり

（ ）印のある施策は、子どもの貧困対策としての施策も含まれる。

【資料3】

平成27年9月24日第5回総合教育会議資料

足立区総合教育会議 事務日程(案)

日程		教育委員会スケ	総合教育会議の開催時期と議題内容
4月	上旬	4/3協議会 4/10定例会	第1回 総合教育会議(4/23) 総合教育会議の運営方法とその決定、教育大綱策定に向けた検討 (関係する部の意見交換含む)、会議日程案の提示
	中旬		
	下旬	4/23協議会	
5月	上旬		
	中旬	5/14定例会	
	下旬	5/28協議会	
6月	上旬	6/4協議会	第2回 総合教育会議(6/11) 教育大綱の内容検討(1回目)
	中旬	6/11定例会	
	下旬		
7月	上旬	7/2協議会	第3回 総合教育会議(7/23) 教育大綱の内容検討(2回目) 意見聴取対象関係者の範囲確認
	中旬	7/13定例会 7/23・31協議会	
	下旬		
8月	上旬	8/7定例会	
	中旬		
	下旬	8/24協議会	
9月	上旬	9/3協議会	第4回 総合教育会議(9/2) 第3回までの内容に係る関係者等からの意見聴取(青少年期) 第5回 総合教育会議(9/24) 第3回までの内容に係る関係者等からの意見聴取(乳幼児期・成人期)
	中旬	9/11定例会	
	下旬	9/24協議会	
10月	上旬		
	中旬	10/15定例会	
	下旬	10/29協議会	第6回 総合教育会議(10/29) 教育大綱の試案作成
11月	上旬		
	中旬	11/12定例会 11/19協議会	第7回 総合教育会議(11月中旬～下旬) 中間報告(パブコメ募集案完成)
	下旬		
12月	上旬		
	中旬	12/11定例会	
	下旬	12/24協議会	
1月	上旬	1/7定例会	
	中旬		第8回 総合教育会議 教育大綱の最終報告、27年度総括、 28年度以降の総合教育会議の方向性の検討等
	下旬	1/22協議会	
2月	上旬	2/4定例会	
	中旬	2/12協議会	
	下旬		議会報告
3月	上旬		
	中旬	3/14定例会	
	下旬	3/31臨時会	